



## 取付要領書

### 1. 特徴

1. 加湿器本体に収める電気部品を最低限にする為に、加湿器本体とコントロールボックスに分離してあります。
2. 発生する霧は、超音波により霧化される為粒子が非常に細かく、常時完全なガス状を呈しています。
3. 水槽ケーシング材質は SUS304 で耐食性に優れ、振動子の電極は水垢付着が少なく、耐蝕性にも優れています。
4. 給水はフロートスイッチと電磁弁の機構から自動で行われ、低水位時には、低水位フロートスイッチが動作して自動的に電源を遮断します。

### 2. 加湿器本体の取付け

1. 付属のドレンパンを天吊金具やアングル等に M8 ボルトでしっかりと固定し、加湿器本体を取付けて下さい。メンテナンスが可能な様に、容易に取外しできるスペースを確保して下さい。
2. 加湿器本体が水平になる様取付けて下さい。(前後左右傾き 5 mm以内) 水平が出ていない場合、霧化量の低下、オーバーブロー等の故障の原因となります。
3. ドレンパン排水接続口に排水配管を接続して下さい。(RC 3/4)
4. 取付に際し、天井面から約 300mm 以上離して下さい。
5. 吹出し口直下にはなるべく物を置かないようにして下さい。(湿る場合があります)

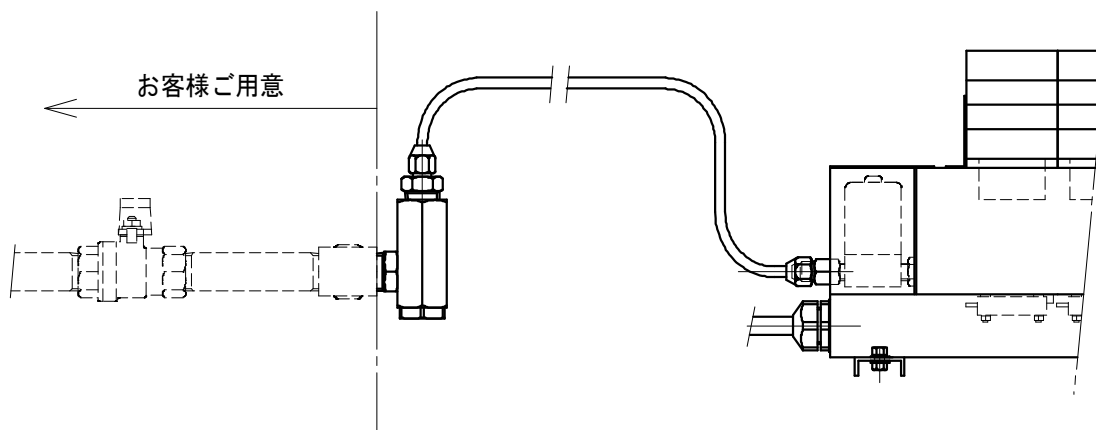
### 3. コントロールボックスの取付け

1. 壁面に確実に固定してください。取付け場所は点検などが可能なように、容易に取外し出来るスペースを確保して下さい。
2. 電線管等を使用される場合にはゴムブッシングを取外し取付けて下さい。  
電線管は呼び径 19 のサイズのものを使用して下さい。

### 4. 給水管の接続方法

1. 接続は必ず付属のハーフユニオン、銅管、L型ストレーナを使用して下さい。給水配管の接続口径は 1/2B です。
2. 供給水水圧 0.02~0.5Mpa 水温 5~45℃
3. 給水配管には必ず加湿器本体近くにサービス弁を設置してください。
4. 接続前にフラッシングなどを行い配管内の切粉、ゴミ、錆等を完全に除去して下さい。
5. 給水は、公共の水道管から直接接続することは出来ません。このような場合にはシスターンを別途設けて下さい。

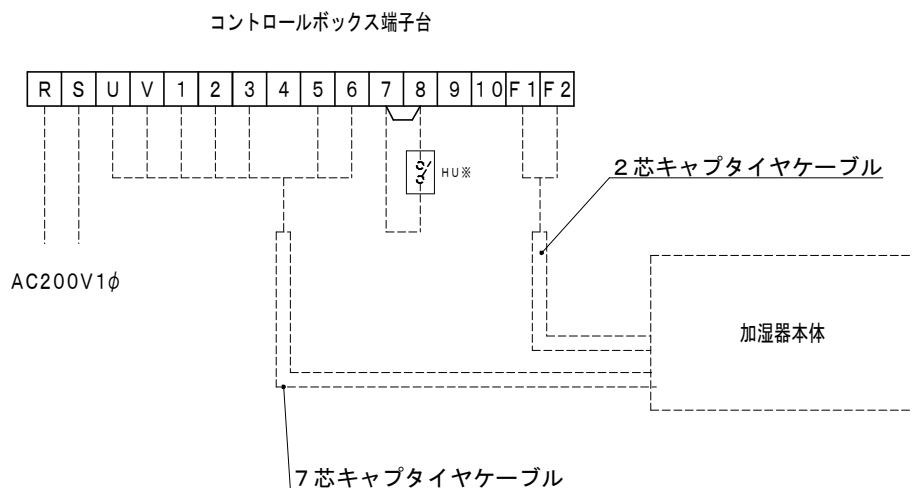
## 給水管接続例



給水配管接続口径 1/2B

### 1 2. 結線要領

1. 湿度調節器は7・8番端子間に接続し、短絡線を外して接続して下さい。
2. アースは必ず加湿器本体、コントロールボックス、各々設けて下さい。
3. 加湿器本体より出ているコード（7芯と2芯）をコントロールボックスの端子番号に合わせて配線して下さい。
4. 配線終了後、電源投入前に配線の確認を必ず行って下さい。



※ 湿度調節器を7・8端子間に接続する場合は短絡線を必ず取除いて下さい。

## エアマテック株式会社

本 社 : 〒169-0075

大 阪 営 業 所 : 〒532-0011

技 術 ・ サ ー ビ ス 部 : 〒359-0021

東京都新宿区高田馬場1丁目30番15号 (TLビル5階)  
 電話 03 (3209) 8191 FAX 03 (3209) 8170  
 大阪市淀川区西中島6丁目1番15号 (アセズ新大阪)  
 電話 06 (6300) 5661 FAX 06 (6300) 5662  
 埼玉県所沢市東所沢4丁目16番地の9  
 電話 04 (2945) 3991 FAX 04 (2945) 3993